

電子書籍サービスについて（案）

1 電子書籍サービスとは

タブレット等を用いることにより、来館せずともいつでも電子書籍を借りることのできるサービスをいう。

2 電子書籍の機能 ※書籍によっては利用できない場合あり

- ・文字サイズの拡大
- ・画面の背景と文字色の変更
- ・しおり、メモ機能
- ・音声読み上げ機能

3 サービスの内容

(1) 一般利用

①対象者

台東区内に在住・在勤・在学する者で、台東区立図書館に利用登録している者
※利用登録については、オンライン申請についても検討中。

②貸出点数・期間

- ・貸出点数：2点
- ・貸出期間：14日間（貸出期間経過後は自動返却）

4 メインターゲットとコンテンツ

電子書籍は紙よりも価格が高く（3～5倍）、有効期限や貸出回数制限（2年間又は52回）があるため、購入できる冊数には限度がある。

そのため、メインターゲットとして、「小中学生」と「子育て世代」を検討している。
※別紙「メインターゲット（案）」を参照

メインターゲット（案）

	メインターゲット	コンテンツ	メリット
1	<p>小中学生（学校連携）</p> <p>※区立の小中学校の全児童生徒に、電子図書館IDを付与する</p>	<p>・同じ電子書籍を、同じタイミングで、複数人が読むことのできる「児童書読み放題パック」を導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝読」「調べ学習」など、学校での活用が可能。 ・スペースや蔵書数に限りのある学校図書室を補完する機能とし、電子図書館を活用できる。 ・1人1台配付されているタブレットを使用することでいつでもアクセスが可能となり、読書に触れる機会が増え不読率の低減につながる可能性がある。 ・多様な子供達の読書機会の確保につながる。 ・継続的な利用が見込まれる。
2	<p>子育て世代</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実用書（子育て本、料理本など） ・文芸書・エッセイ ・ビジネス書 ・絵本・児童書 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児や仕事で多忙なため、図書館を訪れる時間を確保することが難しく、いつでもどこでもアクセスできる電子書籍サービスは子育て世代のニーズに適している。 ・子育て世代はデジタルツールやサービスへの抵抗感が少ないため、積極的な利用が期待できる。 ・子供の学習支援や親子での読書を促進する効果が期待され、家庭全体での利用が進む。 ・子育て世代は育児や教育に関する情報を必要としているため、育児本や絵本などの電子書籍の提供により、子育てに悩む保護者の学びのきっかけとなる。